

21 臨床心理部



臨床心理部では総計5名の公認心理師が在籍し、主に各診療科からの依頼に基づき患者さんに必要な心理検査並びに心理相談・認知行動療法を実施し、個々のニーズに応じた心理的支援を行っている。

2023年度は前年度から引き続き取扱延人数は増加しており、特に認知行動療法の件数は昨年度よりも大きく伸びている。

また、内科や外科の取扱延人数も増加しているが、これは主に入院患者の心理相談の依頼件数の増加によるものであり、内訳としては消化管内科が40件と炎症性腸疾患外科が26件とIBDの患者の取扱延人数が最も多くなっている。

しかし、2023年度は人員体制が十分とは言えない状況でもあった。そのため、外来患者の心理相談は新規の受付が厳しく、新規の実施を待っていただいている状況が続いている。

認知行動療法についても同様に対応可能な人数を超えてのニーズがあり、一時的に新規開始を2、3か月待っていただくような状況であった。

心理検査についても依頼件数の減少もあるが、予約枠の減少も重なり取扱延人数は減っている。

このように臨床心理部へのニーズは年々増えてはいるが、医療における心理的支援は患者個々への対応が基本であり、マンパワー不足が課題となっている。

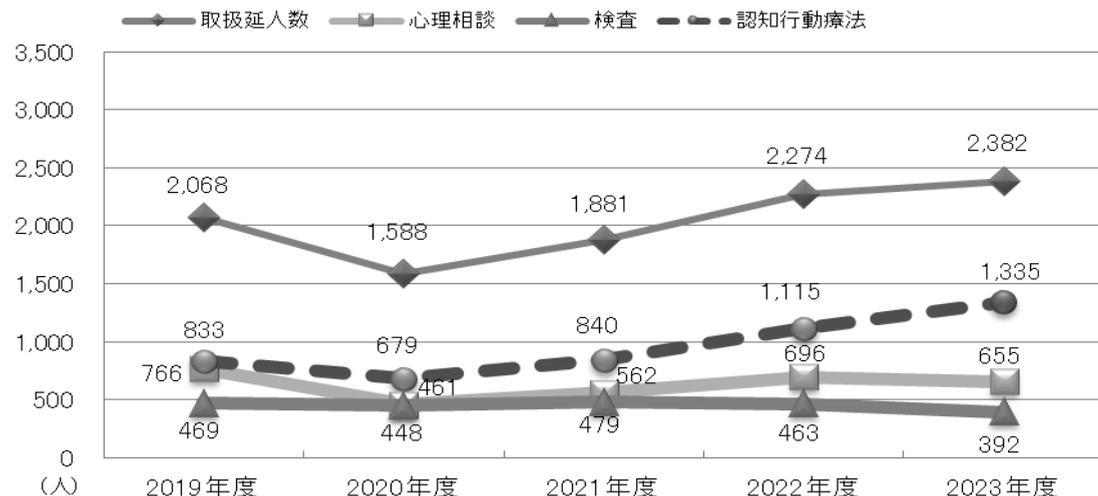
このような状況ではあるが、臨床心理部の業務体制の整備や業務の効率化を図り、また、スタッフの技能向上にも努め、各診療科からの依頼やニーズに十分に答えられるような体制づくりに引き続き努めていきたい。

21-1 年度別・診療科別取扱延人数

(人)

区分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度 構成比率(%)
内科	226	209	232	237	306	12.8
精神科	1,298	983	1,236	1,531	1,596	67.0
神経科						
小児科	139	99	134	141	188	7.9
N I C U	74	5				
外科	12		3	10	46	1.9
整形外科				3	5	0.2
脳神経外科	3				4	0.2
皮膚科						
泌尿器科	52	36	26	52	36	1.5
産科婦人科	1	1	11	2	5	0.2
眼科	39	18	5	6	9	0.4
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	23	15	13	39	36	1.5
救命救急センター						
放射線科	1		10			
認知症疾患 医療センター	78	98	90	51	56	2.4
チーム医療 (精神科リエゾン・緩和ケア)	113	122	117	181	79	3.3
遺伝子医療部	1	1	4	6	4	0.2
ペインクリニック部				15	9	0.4
臨床心理部	8	1			3	0.1
合計	2,068	1,588	1,881	2,274	2,382	100.0

21-2 取扱延人数の年度別推移



※2018年度より2日間検査を実施した場合は2件で表記